

# 株式会社テラプローブ 決算説明資料

**2019年12月期 第1四半期**

# 2019年12月期 第1四半期

## 業績説明

本資料では、増減率について、1,000%を超える場合や、比較対象の一方もしくは両方がマイナスの場合、原則として「-」と表示しています。

# 2019年12月期 第1四半期 業績サマリー

	CY2018		CY2019		QoQ		CY2018		CY2019		YoY	
	億円	4Q	1Q	増減	%	1Q	1Q	増減	%			
売上高		46.7	40.3	△ 6.4	△14%	63.0	40.3	△ 22.8	△36%			
営業損益		△ 1.4	△ 3.0	△ 1.5	-	8.9	△ 3.0	△ 11.8	-			
	%	△ 3.1%	△ 7.4%	△4.3pt	-	14.1%	△ 7.4%	△22.5pt	-			
経常損益		△ 2.1	△ 3.6	△ 1.5	-	8.3	△ 3.6	△ 11.9	-			
	%	△ 4.4%	△ 8.9%	△4.5pt	-	13.1%	△ 8.9%	△22.1pt	-			
特別利益		8.1	3.8	△ 4.3	△53%	0.2	3.8	3.6	-			
特別損失		10.8	1.8	△ 9.0	△84%	1.5	1.8	0.2	15%			
税金等調整前四半期純損益		△ 4.7	△ 1.5	3.2	-	7.0	△ 1.5	△ 8.5	-			
親会社株主に帰属する 四半期純損益		△ 2.2	△ 0.5	1.7	-	1.6	△ 0.5	△ 2.1	-			
	US\$	112.74	110.62			110.69	110.62					
	NT\$	3.67	3.59			3.70	3.59					

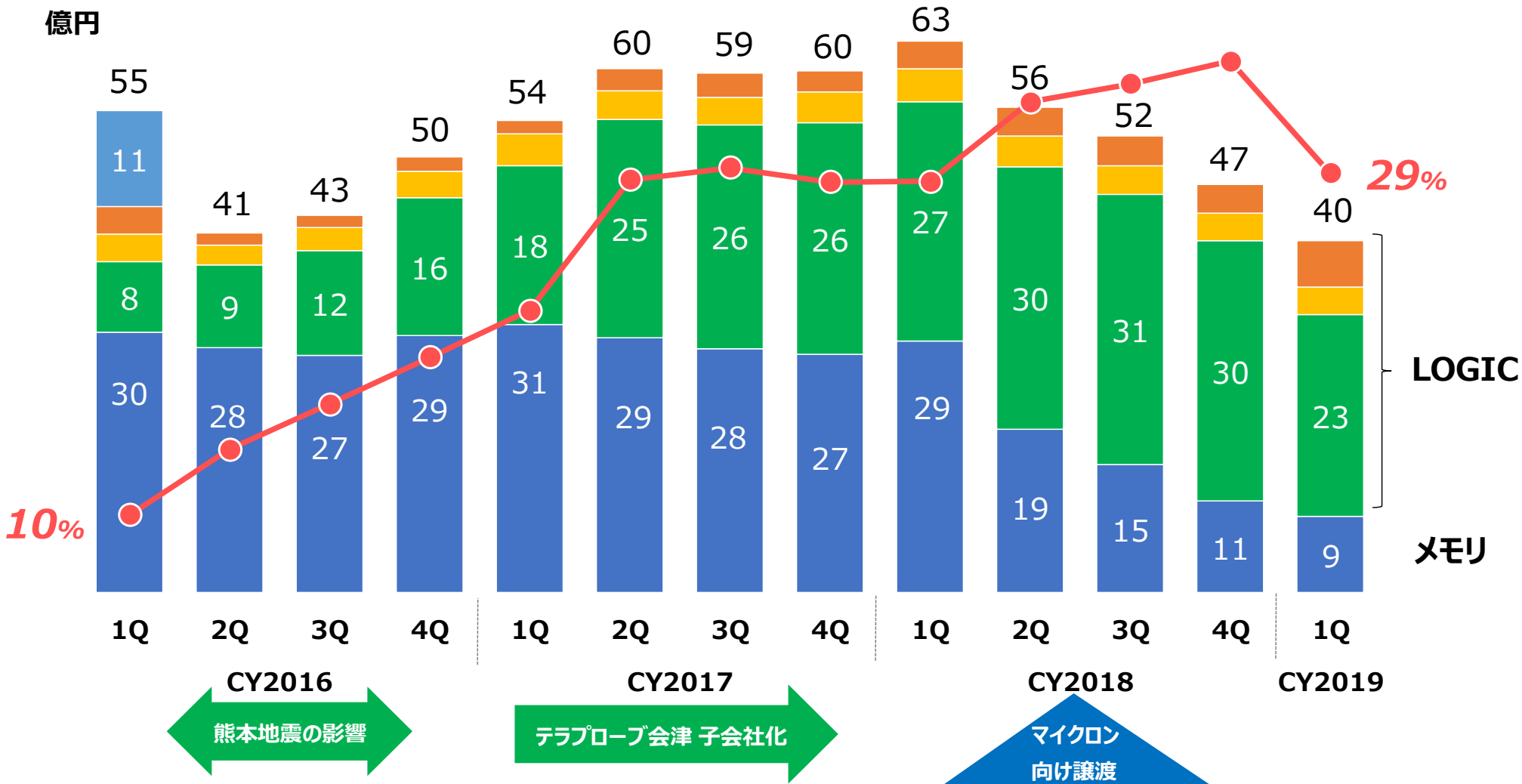
**売上高：** DRAM市況低迷や車載向け在庫調整の継続により、QoQ 6.4億円減。

**営業損益：** 費用削減に取り組むも、売上高の減少幅に及ばず、QoQ 1.5億円減。

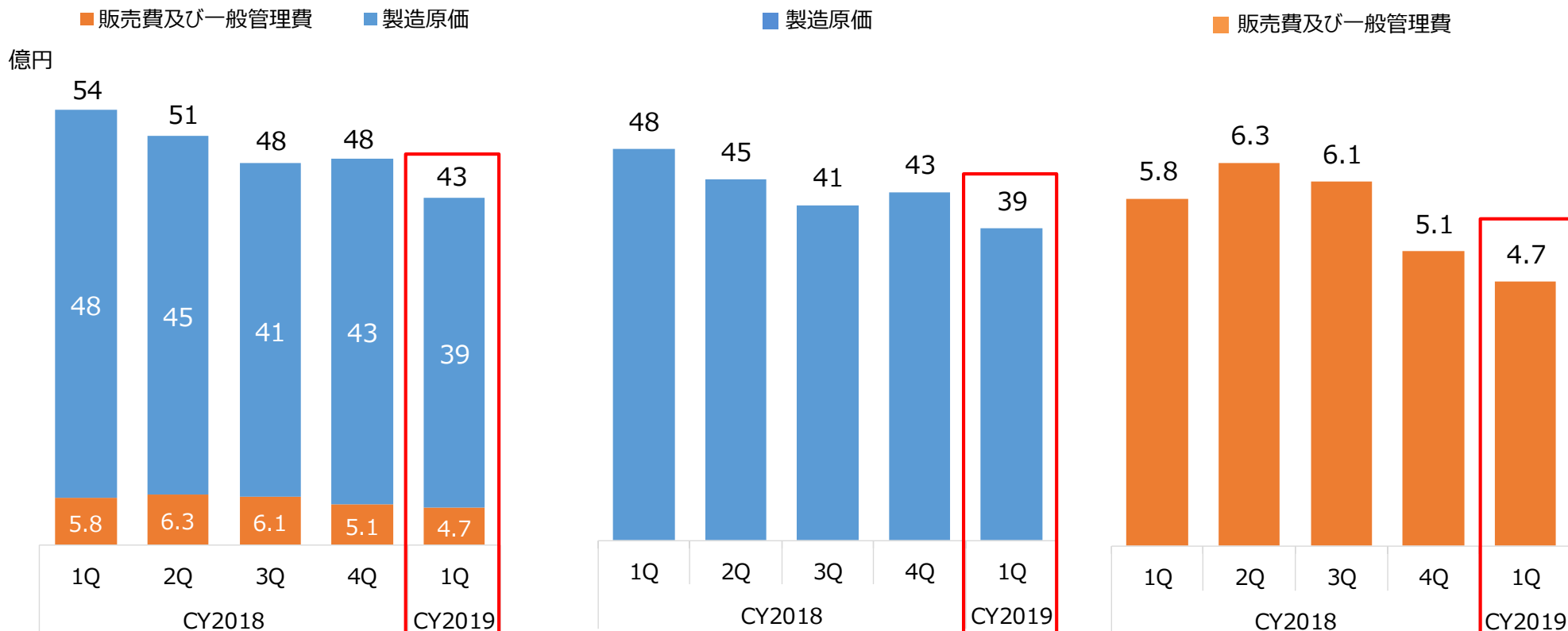
**親会社株主に帰属する  
四半期純損益：** 地方自治体助成金や固定資産売却によりQoQで改善。

# 連結売上高推移（製品別）

■ メモリ(DRAM+Flash)   
 ■ MCU・SOC   
 ■ CIS   
 ■ Analog・他   
 ■ WLP   
 ● 車載比率



# 連結費用推移 (2018年1Q ~ 2019年1Q)



製造原価

2018年1Q比  $\Delta 9.8$ 億円  $\Delta 20\%$  (四半期平均 $\Delta 5.5\%$ )

販売費及び一般管理費

2018年1Q比  $\Delta 1.2$ 億円  $\Delta 20\%$  (四半期平均 $\Delta 5.4\%$ )

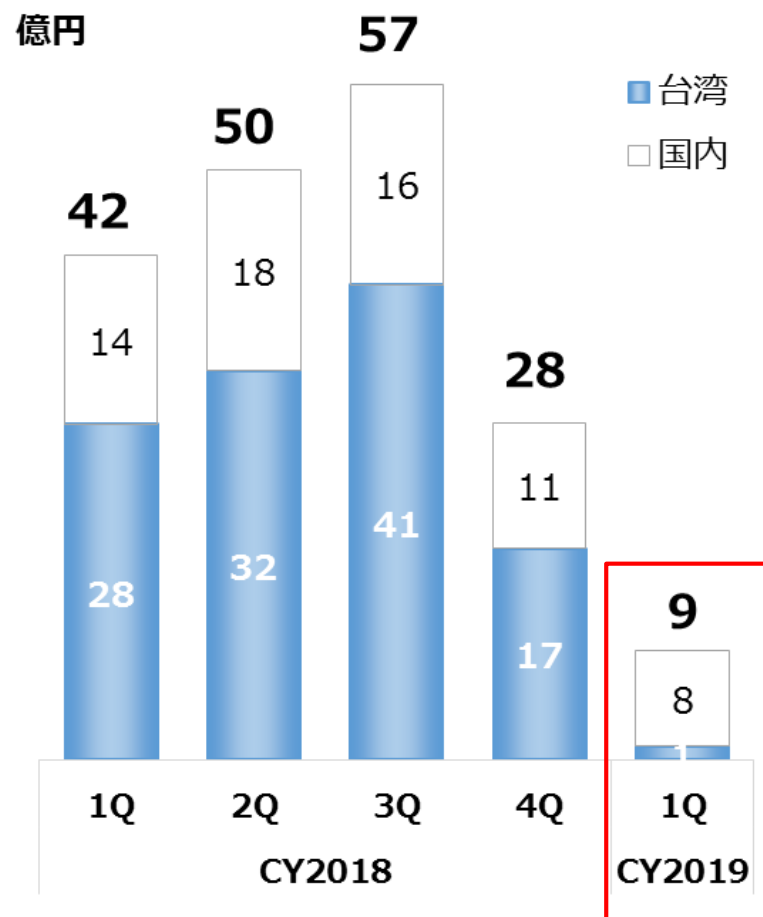
## 2019年12月期 第1四半期 財政状態

	CY2018	CY2019	QoQ		CY2018	CY2019	YoY	
	億円	12月	3月	増減	%	3月	3月	増減
現預金	143	139	△ 4	△3%	128	139	12	9%
有形固定資産	415	404	△ 11	3%	356	404	48	13%
総資産	628	603	△ 25	△4%	570	603	34	6%
有利子負債*	244	232	△ 11	5%	191	232	42	22%
純資産	309	305	△ 4	△1%	291	305	14	5%

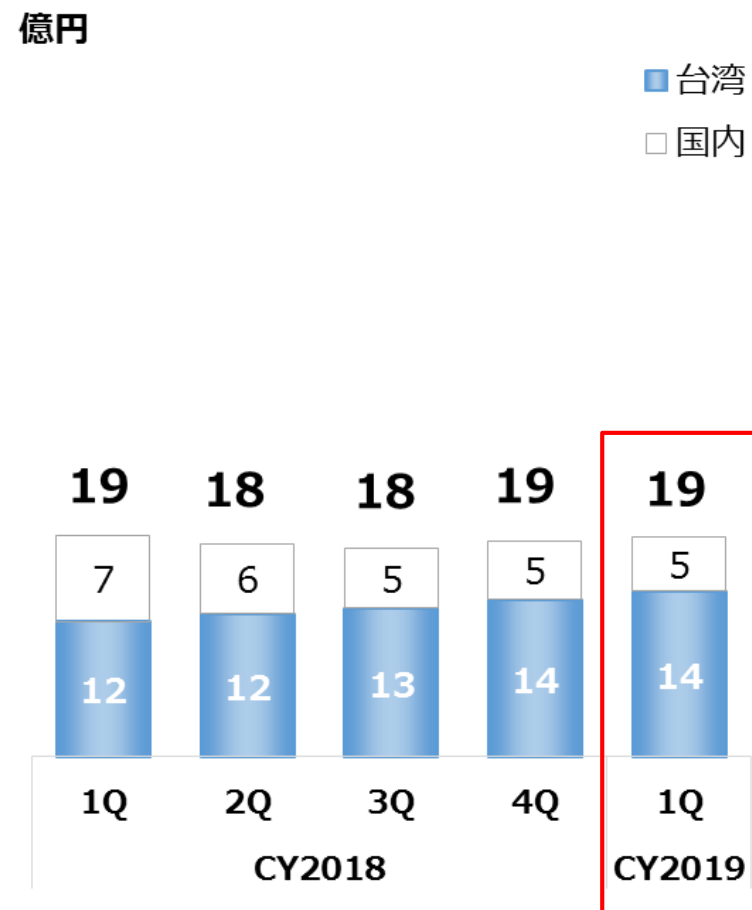
\*有利子負債 = 借入金 + リース債務

## 設備投資及び減価償却

## 設備投資



## 減価償却



# 2019年12月期 第2四半期

## 業績予想

本資料では、増減率について、1,000%を超える場合や、比較対象の一方もしくは両方がマイナスの場合、原則として「-」と表示しています。



## 2019年12月期 第2四半期 業績予想

	億円	CY2019		QoQ		CY2018 2Q累計	CY2019 2Q累計	YoY	
		1Q	2Q	増減	%			増減	%
売上高		40.3	38.7	△ 1.5	△4%	118.5	79.0	△ 39.5	△33%
営業損益		△ 3.0	△ 4.0	△ 1.1	-	13.5	△ 7.0	△ 20.5	-
	%	△ 7.4%	△ 10.4%	△3.0pt	-	11.4%	△ 8.9%	△20.2pt	-
親会社株主に帰属する 四半期純損益		△ 0.5	△ 4.2	△ 3.7	-	11.8	△ 4.7	△ 16.5	-

**売上高：** 2018年12月期後半から続く需要低迷や在庫調整の影響により、QoQ 1.5億円減。

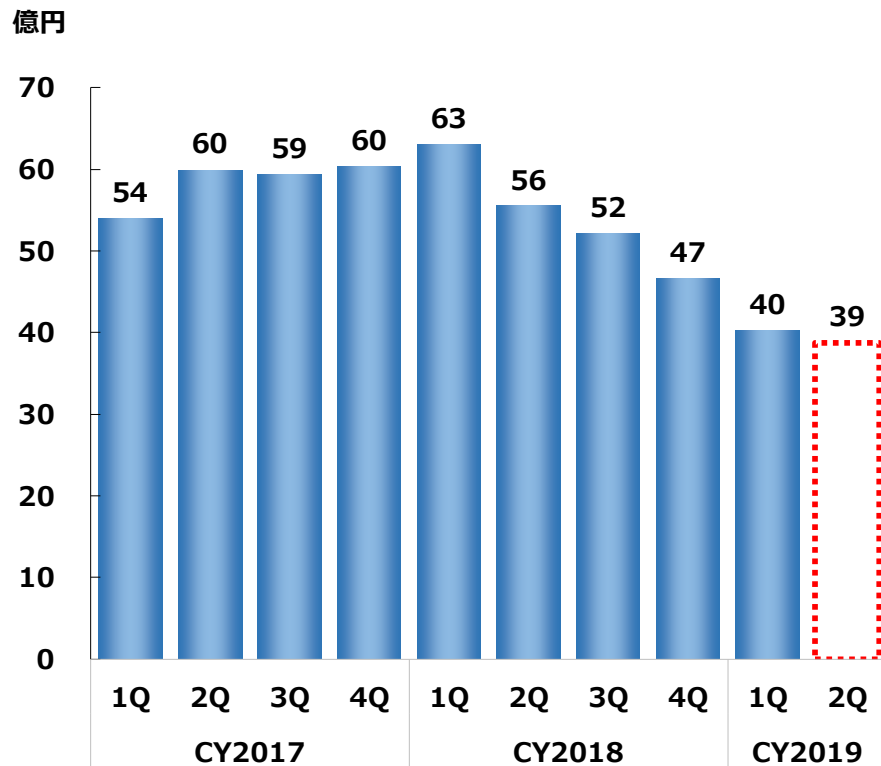
**営業損益：** 費用削減に取り組むも、売上高減少による影響が大きく、QoQ 1.1億円減。

**親会社株主に帰属する**

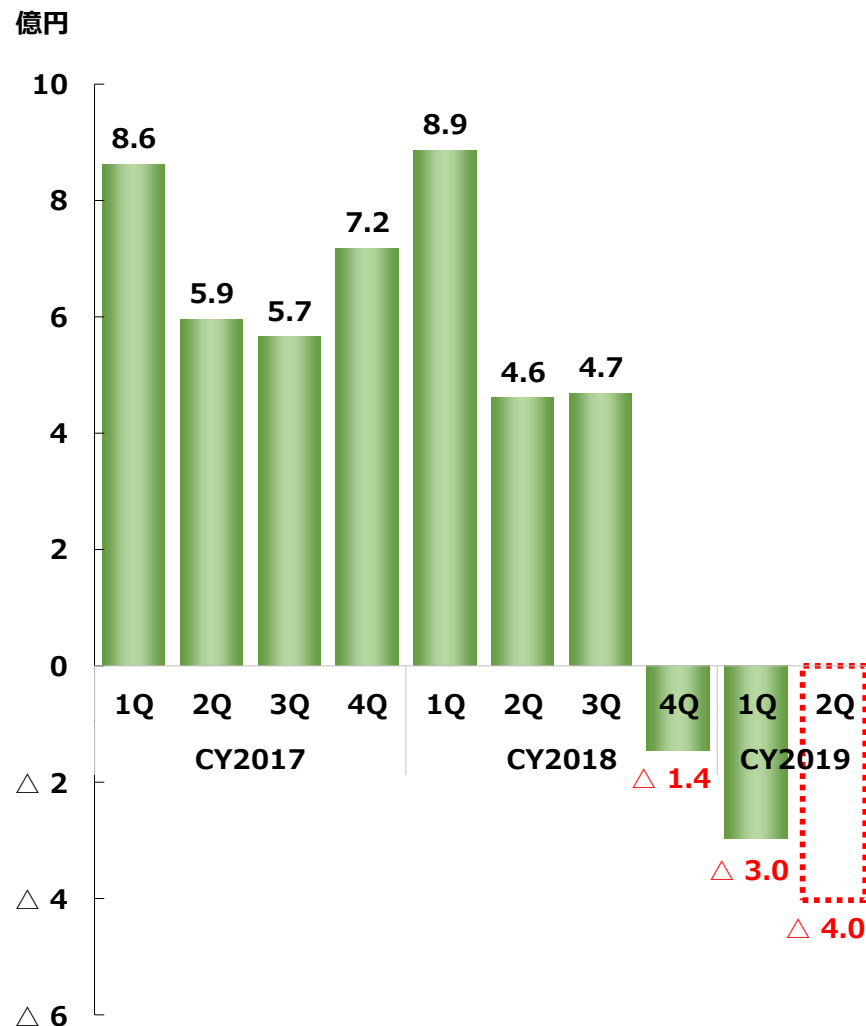
**四半期純損益：** 前四半期で計上した、地方自治体助成金や固定資産売却益といった要因がなくなったことにより、QoQ 3.7億円減。

# 売上高及び営業利益推移

## 売上高推移



## 営業利益推移



## 2019年12月期 第2四半期 トピックス

---

### □ 半導体テストサービス事業への集中

- 2019年6月末をもって、顔認証ソフトウェア・ライブラリ TeraFaces®及びその関連製品・サービス（新規ライセンス含む）の販売終了。

## 本資料における注意事項等

- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社テラプローブ（以下、弊社）の現状を理解していただくために作成したものです。
- 本資料の一部には監査法人の監査やレビューの対象外の内容が含まれております。
- 本資料に記載された内容は、発表時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資を行う際は、必ず弊社が開示している資料をご覧くださいの上で、投資家ご自身の判断において行っていただきますよう、お願い致します。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社テラプローブ  
ファイナンスディビジョン  
TEL (045) 476-5711  
URL <http://www.teraprobe.com/>